

海女文化交流

日韓若者海女文化交流会

1 目的

日韓国交正常化 50 周年記念事業の一環として、海女文化をテーマに、双方の大学生による相互訪問と文化交流が行われている。

今回は、先日の 7 月 9 日(木)から 12 日(日)、韓国から訪れた学生 30 人を鳥羽・志摩に迎え、三重大生たちとともに鳥羽・志摩の漁村や海女祭礼の見学や体験をした。

日韓学生の交流と文化の相互理解（特に海女文化）を目的に、鳥羽・志摩に参加した本学の学生と「日本文化論 B(日本の海女文化)」の講義の受講生たちを交えて、交流会をもった。

2 実施日

平成 27 年 7 月 13 日(月) 10:00～12:00

3 実施場所

三重大学 講堂 小ホール

4 実施内容

韓国から来日した、済洲大学、東義大学、韓国海洋大学の学生 30 人と三重大生とともに、朴恵淑教授をコーディネーターとして、海女文化についての意見の交流会があった。

交流会の途中、鈴木英敬三重県知事が来室し、学生たちの意見発表後、挨拶があった。



挨拶（塚本明教授）



コーディネーター（朴恵淑教授）



会場の様子と韓国大学生の発表 1



韓国大学生の発表 2



韓国大学生の発表 3



韓国大学生の発表 4



三重大生の発表



鈴木英敬三重県知事

5 成果と課題

珍しい体験や失敗談など、交流を通して感じたことが発表された際は、会場で笑いが起こるなど、日韓双方の学生が充実した時間を過ごしたことがうかがえた。

9月に今度は、日本から三重大生が韓国の大学を訪れるので、充実した時間が過ごせるよう万全の準備を怠らないようにしていただきたい。

6 資料

ビデオ映像